



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城市駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表：宮本 純子

☆プリムの祭り☆



(ラビ・メンディ・スタケヴィッチ)

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。
愛する皆さま、いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りくださり心から感謝致します。

今年は、2月25日から28日までプリムの祭りが祝われました。
エステル記のプリムの祭りは、アダル月の14日にお祝いします。
プリムは、子供も大人も仮装をする楽しいお祭りです。これは、エステルがユダヤ人であることを隠していたことにちなんでいます。



ユダヤ教の会堂シナゴークでは「メギラー」としてエステル記が朗読されます。その時に「エステル」と「モルデカイ」の名前が呼ばれると歓声をあげ、逆に宿敵である「ハマン」の名前が出てくる度にガラガラと音の鳴るおもちゃを鳴らし、足を踏み鳴らして音を出します。

プリムでは「オズネイ・ハマン(ハマンの耳)」という三角形のお菓子を食べます。これはハマンが三角形の帽子をかぶっていたことにちなんでいます。



ハバット・ジャパン東京でも仮装をしながらエステル記の朗読をしました。そして、ハマンの耳やピタなどお食事を共にしました。

また、エステル記9:22にあるように、この日は町中の貧しい人々に贈り物をします。私の家にも、プリム・キットとしてハマンの耳のお菓子やハラ(安息日のパン)などが届きました。とても嬉しかったです。

エステル記には神様の名前は全く出てきませんが、神様の存在が、一連の「偶然の一致」など、神様の働きを通してはっきりとわかるのです。

ユダヤ人を絶滅させるために、ハマンは、「プル」つまり「くじ」を引いて決めたのです。プルの複数形が「プリム」なので、それが祭りの名前となりました。ハマンは、ユダヤ人を滅ぼすのに、くじを投げて日を選びました。その日がユダヤ人の祭りの日となったのです。悲しみが喜びに変わったのです。

「くじは、ひぎに投げられるが、そのすべての決定は、主から来る。」箴言 16:33

エステル記の主人公は、生きて働いておられる神様です。神様は、不可能と思えるような状況の中でユダヤ民族を救うために、エステルやモルデカイを使われ、その背後で働かれていたのです。

私たちが、今の時代に生かされているのは、決して偶然ではなく、意味があるかもしれません。エステルやモルデカイのように、どのような状況でも神様により頼み、従う者として歩んでいきましょう。

☆東日本大震災 10 周年オープンガーデンパネル展☆



3月7日から11日、ハバットハウス・オブ・ジャパン(大森)の東日本大震災10周年オープンガーデンパネル展『震災の中、人々がどのように他者を助け、献身したかを風化させず、尊び、学ぶことで未来に向かう。』をテーマに開催されました。

10年前の東日本大震災が発生した時、ラビ・ビンヨミン・エデリーをはじめハバットハウスのユダヤ人の皆さまが、東京から東北に焼き芋や救援物資、支援を運び、ご尽力されました。1枚1枚のパネルから彼らの暖かい愛を感じました。

パネル展には多くの方が訪れ、その一人一人に焼き芋や暖かいコーヒーや紅茶、日本酒でおもてなししてくださいました。

「東日本大震災の津波で、大切なピアノを流されてしまった子どもが悲しんでいる姿を見て、どうにかしてピアノを届けたいと思い、東京の方で呼びかけました。すると、『使っていないピアノがあるからこのピアノを東北に持って行ってください。』と、連絡があり、そのピアノを運んで届けました。私たちは、誰か困っている人がいたら助けたいといつも思っています。」と、キッズワークショップで、エフラット夫人がそう話してくださいました。そして、「誰かを助けるために」と、支援を集めるための募金箱を子どもたちで作成しました。ハバットハウスのためにお祈り致します。



☆過越しの祭り☆



今年は、3月27日から4月3日まで過越しの祭をお祝いしました。

コロナ禍なので自宅でも過越しの祭りの特別な食事(セデル)を持てるようにと、セデル・キットも届きました。在日ユダヤ人コミュニティーに心から感謝致します。



27日、アメリカンクラブで開催されたハバット東京主催(ラビ・メンディ・スタケヴィッチ)のセデル(過越しの祭りの食事会)に出席しました。広い会場で十分にコロナ対策をした上で、在日ユダヤ人約100人と共にエジプトを記憶しました。

私は、吉田松陰のことが大好きなユダヤ人の方と同じテーブルに座りました。吉田松陰の名言が心を打ち、涙したことを熱く語ってくださいました。そして、ユダヤ人にとって過越しの祭りがとても重要だということも熱く説明してくださいました。私は、大和魂を持ったユダヤ人の方と出会えてとても嬉しかったです。

日本においても大勢のユダヤ人と過越しの祭りをお祝いできることを感謝します。

☆大盛況となった「聖地画展 2021」☆



3月24日~28日、「聖地画展 2021 宮本純子個展」をみどりアートパークにて開催しました。「エピプロログ相原陽輝個展」「星くずくらぶ展」共同開催。

5日間で延べ270人が来場してくださいました。遠方からも近くからも大勢の方々にご来場いただき本当にありがとうございました。心から感謝致します。

タウンニュース横浜市緑区版で大きく取り上げてくださり、大盛況となりました。多くの方に福音を伝える良い機会となりました。主に心から感謝致します。

アート・ミニストリーズの小泉恵一さん(彫刻家)も来てくださり、クリスチャンのアーティストが神様の栄光を表すため、また福音を伝えるために作品を作成出来ることの素晴らしさを分かち合いました。素晴らしい出会いを感謝致します。

みどりアートパークで「聖地画展2021」を開催する



宮本 純子さん 希望を与える、これからも

○…自身が長年住んだ国、イスラエルの美しい風景や聖書の世界を水彩画とアクリル画で描く。「テロや戦争など、負のイメージがあるかもしれない。でも、イスラエルは本当に魅力の溢れる国。絵でそのことを伝えられたら」と微笑む。横浜北部美術公募展などに長年出展し、地道に描き続けてきた。区内では、初の個展で23点の作品が並ぶ。「コロナ禍で、平安と希望を与えるような聖地画展にしたい」と意気込みを見せた。

○…東京都生まれ。中学1年生の時、両親が離婚。また、転校先の学校で過酷ないじめを受けた。そんな時、大きな心の支えとなったのは近所の教会。数々の聖書の言葉に救われた。自然と聖書の舞台であるイスラエルに興味を持ち、20歳で単身渡った。集団農場や教会で奉仕を続け、懸命に働く日々を送った。

○…結婚を機に37歳で日本に帰国。子育てをしながら絵を描き続けた。子ども向けに絵のワークショップを開催することも。絵を描くことで得た多くの人とのつながりを大切にしているという。「これ、良かったら」と取材後に渡されたのは、聖地画のポストカード。そこには、自身が描いたイスラエルの名所と聖書の言葉が書かれている。「これからもずっとありのままのイスラエルを描き、絵で多くの人に希望を与えられたら」と情熱は尽きないようだ。

○…自治会の活動はもちろん、地域の起業家などが集まる会などにも参加する。様々な人とつながることで新しいものが生まれる。今回の個展では、ユーチューバーの協力を得て、会場の様子を映像配信することに挑戦する。「アマチュアの私でも、発表する場があることは本当にありがたいこと。今後も、もっともっと多くのことにチャレンジしたい」

☆横浜開港アンデパンダン展☆



3月31日～4月4日、横浜市民ギャラリーにて開催された「横浜開港アンデパンダン展」に、高木共子さん、相原陽輝さんと共に出展しました。横浜でアーティスト活動している方々とたくさん出会い、素晴らしい作品を通して良い刺激をたくさん頂きました。

私にとって、華道と茶道の先生(私立高校で理科の教師)との出会いが特に良かったです。顕微鏡で、タンポポやツツジの花粉や花びらから細胞を見る機会を得て、神様の素晴らしい創造の芸術、御業を見させて頂きました。神様を心から賛美し、褒め称えます。

☆神奈川美術公募展☆



「聖地画展2021」と「横浜開港アンデパンダン展」の開催が相次ぐ多忙の中、F30号のアクリル画2点「羽ばたけⅠ」「羽ばたけⅡ」が完成しました。神様が御手をとって描いてくださったので、私が描いたのではなく神様の作品です。神奈美展に入選しました。

4月14日～18日、神奈川県民ホールギャラリーにて展示されました。新しい展開に感謝。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- ☆ 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。
- ☆ イスラエルの国政、国内情勢のためにお祈りください。
- ☆ 世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進める事が出来ますように。

- ☆ イスラエルと日本との国交が更に深まりますように。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く終息しますように。一人でも多くの方の命と健康が守られますように。コロナ禍の中で、イエス様を信じて救われる魂が世界中で多く起こされますように。神様のご介入と助けを切に祈り求めます。
- ☆ ユダヤ教正統派のラビとして活動し、尊敬されているラビ・エル・コーヘンが、実はメシアニック・ジューの宣教師であり、5人の弟子たちがいることが4月28日付のエルサレムポスト誌で取り上げられました。どうかユダヤ教正統派のラビたちが救われますようにお祈りください。
- ☆ メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルが救われますように。
- ☆ 在日ユダヤ人や訪日ユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ますように用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者たちが起こされますように。
- ☆ 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆お知らせ☆



☆ 「聖地画展2021」のVR動画

3月に開催された「聖地画展 2021」のVR動画のQRコードです。VR動画は、2021年9月25日までの公開です。



「聖地画展 2021」の会場を体感出来ますので、ぜひアクセスしてください。

☆ 「聖地画展 2021」のYouTube動画

YouTube動画のQRコードです。「聖地画展 2021」を、宮本純子が案内します。アクセスをよろしくお願い致します。



☆ 5月12日(水)~24日(月)国立新美術館にて開催の「第116回太平洋展」に水彩画2点入選しました！感謝

☆ 2021年夏のユダヤの祭り ☆

☆ 7月18日 ティシャ・ベ・アブ(神殿崩壊日)

ヘブライ語で、ティシャとは9、バアヴとはアヴの月という意味です。伝承によれば、紀元前586年のこの日にバビロニア人によってエルサレムの神殿が破壊され、その後、建てられた第二神殿も紀元70年のこの日にローマ人によって破壊されたとされます。ユダヤ民族最大の悲劇の日として記憶されています。

2021年6月 夏号発行(季刊誌)